

【大切な命】

『どんなに

ちっこくても

命は命なんだ』

ある生徒が未熟児として生まれたことを打ち明けた時、金人はその生徒が立派に成長したことを喜び、と同時に、どんなに小さな命でも生きようとする力が宿っていることを三Bの生徒に教えた。

三年B組金八先生

第⑮話より

5月に私は2人目の孫に恵まれました。

10ヶ月間、お母さんのお腹の中で一つの細胞が赤ちゃんと呼ばれるまで成長し、この世に生まれ出てきました。

オギャアと泣いた時、呼吸をしてくれたと安心し、お母さんの胸でお乳を探す仕草を見ては、まさに生きようとしているのだと思いました。何もわからないはずなのに、恵まれた尊い命を一生懸命生きようとする赤ん坊の姿に、改めて命の大切さを教えられました。

(栗山町 教覚寺 萩山玲子)